

日本語教育における「話す」ことの指導

福 山 壽 子

1 はじめに

日本語教育において「話す」「聞く」「読む」「書く」の4技能のうち「話す」能力の指導について、考えてみたい。

日本語能力試験の2級、1級に合格している外国人留学生でも、「話す」のが苦手で、あまり話したがない人がある。日本語学校で日本語を勉強し、上級学校に進学しようという目的をもつ学生は、日本留学試験を受験することが第1の目標となる。日本語学校も受験勉強のための予備校のようである。しかし、日本語を勉強する外国人学生に、日本語を勉強する目的を聞いてみると、いろいろな答えが返ってくる。日本のアニメや漫画が読みたいから、日本の映画に興味があるから、日本の大学に入りたいから、日本系の企業に就職したいから、日本人の友達と仲良くなりたいから、仕事のために必要だからと実にさまざまである。

日本語の教科書は「話す」能力のために役立っているだろうか。学生たちが話している日本語を聞くと、不自然で、日本語らしくない。アルバイト先などで、学生が授業で習った日本語を実際に使ってみると笑われるという。また、漫画やアニメ、映画、テレビドラマには、「です」「ます」体はほとんど出てこない。教科書の日本語と、日本人が実際に話す日本語は違うと学生たちは文句を言う。

今までの私の日本語クラスでは、カリキュラムに沿って、教科書どおりに教えるのが効果的だと考え、学生が学習する上で混乱しないようにとの思いから、学生たちの不満の声があっても、軽く受け流してきた。いきなり外国人にだけた日本語で話されると、日本人の中には、失礼だと感じる人もいるのではないかと思います。「はじめはていねいな日本語を練習してください。」と言い学生たちを納得させてきた。

しかし、もっとコミュニケーションな日本語が学生たちには必要で、適切なコミュニケーションの手段として、「日本語会話」を教えることは大事であると考えようになった。学習者の立場に立ち、既存の文法教育から離れて、「日本語会話」、コミュニケーションに役立つ日本語を教えることが必要だ。学生が興味をもって学べるように、日本語を教える教師の立場から「話す」指導について考えてみたい。

ここではまず次の3つについて考察する。

- 1) 初級学習者の不自然で、気になる発話について
- 2) 教科書でどのように扱われているか
- 3) コミュニケーションのために役立つ「話す」指導とは

2 日本語教育初級学習者の不自然な日本語

日本では季節が比較的はっきりしているので、季節的な行事が多い。中でも、花見は1年の行事のなかでは欠かせないものである。「花より団子」という表現も、このことを知ってはじめてその表現の持つ意味がはっきり理解できる。また、相手に「お元気ですか。」とたずねるより天候のコメントを挨拶とするのは、日本の風土、気候が季節によって変わりやすいものだからである。挨拶には、万国共通のものもあれば、そうでなくて、その国特有のものもある。

不自然な直訳は母語、あるいは第1外国語の干渉によるものである。学生の発する不自然な日本語に対して、教師はいかにそれらに敏感に反応し、学生の日本語をより日本語らしいものに近づけていくかが、初級学生を受け持つ教師の大切な役割だと思う。またそれと同時に、使用する教科書についても、またカリキュラムについても考えてみるべきだと思う。

現在一般的に使用されている初級の教科書(『みんなの日本語』)は、文法中心のものである。学生の発話する日本語は、不自然で、堅苦しいものになってしまう。日本に來日して間もない初級学習者の、気になるいくつかの不自然な日本語の発話例を挙げてみようと思う。とりあげた初級学習者のほとんどは中国人で、そのほかにはバングラデシュ人、タイ人、韓国人、アメリカ人、イギリス人、カンボジア人などである。

2-1 「お元気ですか。」について

「お元気ですか。」と言う挨拶は、いつも会っている人に使うのは不自然である。学習者が来日し、学校に通い始めると、朝学校に着いて教室に入る前に、教師と出くわすことがある。そのときの挨拶はまずこのようである。

(1) おはようございます。あなたは、お元気ですか。(?)

How are you? のつもりだと思うから、こちらも初めころは

(2) 元気ですよ。ありがとう。あなたは。(?)

と返事をしてしまう。しかし、しっくりしない。日本語らしくない。顔を直接見ながら、そしてほとんど毎日会っている人に挨拶するのに、「お元気ですか。」は変である。日本人は朝会ったときには

(3) おはようございます。今日はいいお天気ですね。

あるいは、

(4) おはようございます。きょうも暑いですね。

と天気の話をする人が多い。しかし初級の段階の外国人留学生にとっては、

(5) “How are you?”

(6) “I’m fine, thank you. And you?”

という挨拶の方がなじみがあり、それをそのまま日本語に翻訳したのである。

ではまったく「お元気ですか。」を使わないかと言うと、そうでもない。久しぶりに会った人には、

(7) 久しぶりですね。お元気でしたか。

と言うし、手紙などではまずはじめに、

(8) お元気ですか。

(9) お元気でいらっしゃいますか。

と書く。“How are you?” は日本語でなんと言うか学生にきかれたときには、日本語の挨拶では普通は使わないと言うことをはじめにきちんと説明したほうがいい。

これについては3-1で教科書ではどのあたりに、どのように出てくるかを述べる。

2-2 「あなたは」「わたしは」について

(10) 学生（先生に）：あなたは日曜日何をしますか。(?)

(11) 学生（先生に）：先生は日曜日何をしますか。

(12) 学生（先生に）：あなたはアメリカに行ったことがありますか。（?）

(13) 学生（先生に）：先生はアメリカに行ったことがありますか。

先生に対して、「あなたは」と日本では言わない。「あなたは」は使わない、省略できる、というのを学生に納得させるのに時間がかかる。英語の You を省くのはかなり抵抗があるようだ。日本語では面と向かって相手と話すときには、その人が先生であれば「先生」、上司であれば、「課長」「店長」、友人ならば「～さん」、親しい人であれば名前の呼び捨て、あるいはニックネームでもいい。しかしクラスで外国人学生同士が日本語で話しているとき、「あなたは」をつけて話している。

(14) あなたは何時に起きましたか。（?）

(15) 陳さんは何時に起きましたか。

友人だったら、「陳さん」「キムさん」などのように名前で置き換えるほうがいい。しかし、初級の段階では先生自身も、

(16) あなたはサッカーが好きですか。

(17) あなたは日曜日に何をしましたか。

などのように「あなたは」をつけて質問をする。すると学生も

(18) はい、わたしはサッカーが好きです。

(19) わたしは日曜日に勉強をしました。

などのように答える。何人もの学生に一人一人このような練習をさせていると、これはおかしい、こんなふうには普通は言わないと思ってしまう。

ではまったく「あなた」を使わないかと言うと、そうではない。初対面で名前がわからないとき、面談や面接、座談会などのとき、またアンケートの質問などでは、「あなたは」を使う。だが少なくとも、日常会話では「あなたは」は使わない。

3-2でこの「あなたは」「わたしは」について教科書に出てくるのかどうか、またどのように出ているかを見てみることにする。

2-3 「・・・んです。」について

(20) 写るんです。

フィルムの宣伝で、写真屋さんの店先やCMなどでよく出てくる。この「～んです」というのは日本語初級の真ん中ほどに出てくる。（『みんなの日本語Ⅱ』26課）形を教えるのはそんなにむずかしくない。普通形「のむ」「たべ

る」「いく」などが前に出てくるのでそれに「んです」をつければよい。しかしその使い方やどんなときに使うかは、外国人にとって、とてもむずかしい。よほど日本語会話に慣れないとうまく使えない。会話によく使うから、日本人の話をよく聞いてくださいと説明するが、学生はどんなときにも「ん」を入れて使ってしまう。たとえば、

(21) 先生：日曜日には何をしましたか。

学生：掃除をしたり、洗濯をしたりしたんです。(x)

先生：車の運転ができますか。

学生：できるんです。(x)

というように、前後の関係なく「～んです」を使いたがる。確かに日本語の日常会話の中ではよく出てくるのだが、その使い方を説明するのはむずかしく、日本語をかなり勉強した学生でないと理解できない。

どうしてそうなのか、相手にわかってもらいたい、あるいは説明したいときに使う。「どうして～んですか。」と聞かれ、その理由を答えるときに使う。答えに「ん」を使う場合は、相手の質問が次のようであればいい。

(22) 先生：日曜日だったのに、どうして町に出なかったんですか。

学生：掃除をしたり、洗濯をしたりして忙しかったんです。

また先生は学生の様子が気になるときなど、

(23) どうしたの。

(24) どうしたんですか。

また、よく遅刻する学生には、

(25) 明日からちゃんと早く起きるのよ。

(26) 明日からちゃんと早く起きるんですよ。

この場合の「の」は「どうしたんですか。」「早く起きるんですよ。」の「～んです」の「です」が取れて、「ん」が元の「の」に戻ったものである。目下の人に、先生が学生に、親が子どもに尋ねたり、言い聞かせたりするときを使う。また「の」で終わる疑問形は、たいてい女性を使う。男性の場合は「んだ」となり、文末は上がり調子となる。

このことはまた3-3で取り扱うことにする。

3 教科書での取り扱い

2で「お元気ですか。」と「あなたは」「わたしは」そして、「～んです」

の3つの問題を取り上げた。それらが教科書によって、どのような形で出ているのか調べてみた。どのような場面で、どのように使われるのかは説明もなく、学習者にとっては分かりにくい。また指導者にとっても、説明が難しい。

まず、文法項目としてとりあげるには無理がある。学習者の言語を使わない直説法の教授法であればなおさら、くわしく説明するのは難しい。しかし日本に住んでいれば、よく耳にするので、知っていなければいけないこともある。特に日本人とコミュニケーションをとる際は適切な対応が求められる。相手を戸惑わせるような対応はなるべく早いうちにきちんと指導すべきであろう。

3-1 「お元気ですか」についての考察

実際の日本人の会話ではこの「お元気ですか。」は使う場面が限られる。教科書の中ではどのように扱われているか調べてみた。

教科書名	内 容
みんなの日本語 I 8 課 練習 C	A : お元気ですか。 B : はい、元気です。
新文化初級日本語 I 第 15 課 本文4, 7, 3)	POST CARD 京子さん、お元気ですか。
SITUATIONAL FUNCTIONAL JAPANESE VOLUME:ONE NOTES Pre-Session	(casual) Genki. ↗ (casual) Un, genki (pos.) Uun, genki ja nai.(neg.) Are you well? Yes, I'm well/ No, I'm not well. (formal) Genki desu ka. ↗ (formal) Ee, genki desu. (pos.) Iie, genki ja arimasen.(neg.) Genki ja nai desu.
初級日本語テキスト 日本語で話そう1. 4	(かいわ1) A : スミスさん、おはようございます。 B : あっ、おはようございます。 A : むしあついですね。(以下省略)

Communication Japanese Style I (長沼集中日 本語コース) 8 (p.38) 14 (p.59)	<u>ぶんけい</u> おにいさんはおげんきですか。－はい、げん きです。 おくさんはおげんきですか。－おかげさまで、 げんきです。 ごりょうしんはおげんきですか。 －ありがとうございます。げんきです。 (省略) クラーク：しばらくですね。お元気ですか。 たろう：ええ、元気です。クラークさんは。 クラーク：ほくも。 たろう：今どこから電話をしていますか。 (省略)
長沼新現代日本語 I (改訂版) 初級 2 課 C	ソン 「こんにちは。いいおてんきですね。」 ハリス 「こんにちは。いいおてんきですね。」 (以下省略)
ロールプレイで学ぶ 会話 (1) p.99	会話例① リー：ブラウンさん、ごぶさたしています、 ブラウン：ああ、リーさん、久しぶりですね。 お元気でしたか。 リー：おかげさまで。ブラウンさんもおかわ りありませんか。
JAPANESE BY THE TOTAL METHOD Basic, Part One 1A Unit 1 Simple Sounds 1B Lesson 16 SECTION 5. DIALOGUE	SECTION 5. USEFUL EXPRESSIONS O-genki desu ka? How are you (<i>lit.</i>, Are you well)? Hai, genki desu. Fine, thank you. (<i>lit.</i>, Yes, I am well.) 林：もしもし。田中さんですか。 田中：はい、そうです。 林：わたしは林です。 田中：ああ、林さんですか。元気ですか。 林：ええ、おかげさまで。ところで・・・ (省略)

『新文化初級Ⅰ』では、はがきの書き始めの挨拶として、「お元気ですか。」が出ている。

『長沼集中日本語コース』では3人称で使われる場合と、しばらくぶりに話す電話の相手に対して使われている。

『ロールプレイで学ぶ会話(1)』では久しぶりに会った相手との会話になっている。

一般的に使われている『みんなの日本語Ⅰ』では、8課の練習C(会話の練習)で出てくる。学生たちは当然挨拶のときに「お元気ですか。」を使うものだと思うだろう。

『初級日本語テキスト 日本語で話そう1』ではたくさんの会話の例文が出てくるが、「お元気ですか。」はまったく出てこない。むしろ、「むしあついですね。」とか「きょうはいいてんきですねえ。」という気候に関する挨拶が出てくる。

3-2 「あなたは」「わたしは」についての考察

「わたしは」と同様、「あなたは」という2人称も、習慣上ほとんど日常会話では使うことがない。相手を目の前にして話しているときには、誰が誰に対して言っているのか分かっているから、省略する。日本語では相手と自分とのかかわりで、言葉遣いが違うのでも分かる。相手が父親だったり、先生だったり、課長だったりあるいは友だちだったりする場合、それぞれ違う。

(27) 先生はもうおひるごはんを食べましたか？

(28) 課長はこれからどちらへいらっしゃいますか？

「先生」や「課長」を「あなた」の代わりに使う。その場所に複数の人がいれば、相手の名前、または愛称が使われる。呼びかけのようなものだから、親しい間柄で、2人しかいない場合は

(29) きょうは何が食べたい？

(30) あしたの予定は？

主語であるあなたも付けないし、呼びかけの愛称も省略してしまう。

主語を必ずつけて話す英語話者にとって、省いて言うのは、大変そうである。省かれている主語が「あなたは」なのか「わたしは」なのかも判断できない場合が多々ある。特に状況説明もなく例文や練習で出てくる質問と答えの文を、教科書で読んだだけでは、学習者はほとんど意味を把握できない。

以下の表で、初級の教科書に出てくる「わたしは」「あなたは」の文を抜き出してみた。頻繁に「わたしは」「あなたは」が使われているのは『みんなの日本語 I』『JAPANESE FOR EVERYONE』『Communication Japanese Style』である。

そのほかの教科書では、会話の相手を名前で呼びかけて、会話を進めている。自分のことを言うときは、(わたしは) がほとんどの場合省略されている。

学習者にとって分かりにくいのは、『SITUATIONAL FUNCTIONAL JAPANESE』である。名前がつくと 3 人称で、会話の相手の場合は「あなたは」も名前もついていない。ただ、英語訳が日本語文の横についている。目の前の相手に話している場合と、2 人が知り合いの第 3 者について話している場合の区別がはっきり分かるようにすべきである。

日本人ではなく外国人(欧米)によって書かれた教科書には説明がされているので、学習者にとっては分かりやすい。

ロールプレイなどの練習をして、学習者が慣れるように、指導が必要である。

教科書名	内 容
みんなの日本語 I	
第 1 課文型	わたしはマイク・ミラーです。
第 1 課例文	[あなたは] マイク・ミラーさんですか。 …はい、[わたしは] マイク・ミラーです。
第 1 課練習 C	A: 始めまして。マイク・ミラーです。 アメリカから来ました。どうぞよろしく。 B: 佐藤です。どうぞよろしく。
第 4 課文型	わたしは 9 時から 5 時まで働きます。 わたしは朝 6 時に起きます。 わたしはきのう勉強しました。
第 4 課例文	毎晩何時に寝ますか。 …11時に寝ます。
第 4 課練習 A	わたしは毎朝 6 時に起きます。 あなたは・・・なんじ・・・か。

新文化初級日本語 I 生活会話 6 課本文 1 吉田さんの一日 6 課本文 2 たばこを吸いますか。 本文 3 私はロックが好きです。	①始めまして。佐藤です。 どうぞよろしくお願いします。 ②はじめまして。田中です。 どうぞよろしく。 1. コーヒーを飲みます。 1) テレビを見ます。 2) A: 何を飲みますか。 B: コーヒーを飲みます。 吉田良子: 佐藤さんはたばこを吸いますか。 佐藤 武: いいえ、吸いません。〈以下省略〉 佐藤: 吉田さんはよく本を読みますか。 吉田: いいえ、私はあまり読みません。〈以下省略〉 8. 1) 私はよく手紙を書きます。
SITUATIONAL FUNCTIONAL JAPANESE VOLUME ONE: NOTES Pre-Session 2. Actual use of predicates 第一課 Grammar Notes 第二課 Grammar Notes Examples	(casual) Iku. ↗ (casual) Un, iku. Uun, ikanai. Will you go? Yes, I will go. No, I won't go. (formal) Ikimasuka. ↗ (formal) Ee, ikimasu. Iie, ikimasen. A: シャルマさんは留学生ですか。 Is Sharma-san a foreign student? B: ええ、そうです。 Yes, he is. いいえ、そうじゃありません。 No, he isn't. A: あした行きますか。Will (you) go tomorrow? B: ええ、行きます。Yes, (I) will. いいえ、行きません。No, (I) won't.

第三課 II です Examples ②	1 切手を買います。 (I) I buy stamps. 2 キのう郵便局へ行きました。 (I) went to the post office yesterday. 3 友だちに手紙を出しました。 (I) Sent a letter to a friend. W: 何になさいますか。 What will you have (to eat)? ※ A: 私はポークです。 I will have pork. B: 私はチキン。 I'll have chicken.
JAPANESE FOR EVERYONE Lesson 3 Exercise 2 Lesson 4 Function V	2) あなたは、日本語の本をよみますか。 4) あなたは、日本のテレビをみますか。 3. マイケルさん、てんぷらは好きですか。 Michael, do you like tempura?
Communication Japanese Style I 1 9	クラーク: クラークです。 リー: リーです。どうぞよろしく。 クラーク: どうぞよろしく。 リー: がくせいですか。 クラーク: はい、がくせいです。 クラーク: クラークです。 やまだ: やまだです。 クラーク: せんせいですか。 やまだ: はい。あなたもせんせいですか。 クラーク: いいえ、わたしはがくせいです。 (がっこうで) リベラ: マイヤーさんはごご何をしますか。 マイヤー: 四時から五時半までドイツ語をおしえます。リベラさんはどうしますか。 リベラ: 一時間テニスをします。それから、うちでべんきょうをします。

※教科書によると you には () がない。(to eat) はいらないと思う。

初級日本語テキスト 日本語で話そう 1 1 はじめてあう れんしゅう 2 3 せいかつをはなす	A : あのう、グリーンさんですか。 B : ええ、そうです。 A : 山田です。 B : あ、山田さん。グリーンです。はじめまして。 A : はじめまして。どうぞよろしく。 B : どうぞよろしく。 A : グリーンさん、おくにはどちらですか。 B : アメリカです A : スミスさんはスポーツをしますか。 B : ええ、します。 A : そうですか。どんなスポーツをしますか。 B : ゴルフをします。 A : ああ、いいですねえ。
JAPANESE BY THE TOTAL METHOD Basic, Part One 1A Lesson 1 SECTION 3 DRILL	1. わたしは日本人です。 2. あなたは日本人ですか。
An Introduction to Modern Japanese BOOK ONE Grammar Lessons Lesson 3 Japanese Language Patterns Volume 1 Lesson 1	Tadashi introduces Akiko to John and Marie. ジョン : 正さん、今日は。 正 : やあ、今日は。木下さん。こちらは ジョン・スミスさんとマリー・ペレさんです。 木下 : 始めまして。木下明子です。どうぞ よろしく。 ジョン : こちらこそどうぞよろしく。木下さ さんは学生さんですか。 木下 : ええ。 TRANSITIVE ACTION 1-1 Object and Verb A. THEORY 1. KEY EXAMPLES 1. Nihongo o hanashimasu. (I) speak Japanese. 2. Nyuusu o kikimashita. (I) heard the news. 1-3 "Yes and No" Questions (1)

	1. KEY EXAMPLES 1. Eiga o mimasuka/mimasu/ Do you go to movies? Lit.: Do you see movies? 2. Eiga o mimashitaka/mimashita/ Did you go to the movies? 3. Ee/hai, mimasu. 4. Iie mimasen. Yes, I do. No, I don't. 5. Iie terebi o mimasu. 6. Ee/hai mimashita. No, I watch television. Yes, I did. 7. Iie mimasen deshita. 8. Iie terebi o mimashita. No, I didn't. No, I watched television.
--	--

『An Introduction to Modern Japanese』では Lesson 2の Comment の2.4で次のように説明されている。

「(わたしは) と (あなたは) の2つの言葉を使う際は細心の注意が必要である。英語の *I*, *You* と同じであると思っはいけない。人称代名詞と翻訳されていても、実は (わたしは) は 'private, secret'、(あなたは) は 'that side over there' という意味を持った名詞と考えたほうがよい。(わたしは) と (あなたは) が英語の *I*, *You* とはまったく違ういろいろな働きがあることが、日本語を勉強していくうちにだんだん分かるようになるだろう。しかし、当面のルールとしてできる限り使わないこと。頻繁に (わたしは) (あなたは) を使うと下手な外国人話者と思われるだろう。特に自分を前面に出すのはおこがましいことであると、日本では考えられているのと、内容からすればほとんどの場合 (わたしは) (あなたは) を使わなくても明らかであるからである。だから、ほとんどの日本語文は主語無しであるという印象を与えることになる。

第2人称の (あなたは) は、直接相手をさす場合は、ふつう名前の苗字を使い、それに丁寧さをあらわす (さん) をつけて、(山川さん) のように言う。親しい友人の場合は名前を使う。学習初めころは英語で使うように、頻繁に (あなたは) を使いがちだが、つとめて使わないようにしなければならない。なぜなら、相手の気持ちを害することになる

からである。一般的に（あなたは）は女性のみが使うが、これも、ある状況のもとにおいてのみである。たとえば家庭で、妻が夫と話すときである。女性は親しい友人間でもこれを使う。男性はめったに使わないが、自分より若い女性と話すときに使うかもしれない。（あなた）を‘my Dear’の代わりに使おうと思っても、よほど注意をしないと間違ふ恐れがある。」（福山訳）

ALFONSO の『Japanese Language Patterns』ではローマ字表記ではあるが、第1課から「わたしは」も、「あなたは」も出てこない。しかし、REMARKSで「英語で文の主語と呼ばれるものは、日本語では容易に分かる場合は表現しない。」（「 」内は福山訳）とある。

3-3 「～んです」についての考察

一般的には、理由を説明する「の」だが、単に理由を説明するのみにとどまらない。言葉で言われていない部分を相手は感知しなければならない。暗黙のうちに了解する部分を察知するのはコミュニケーションに欠かせない1つの分野であると思う。特に日本語の特徴として、はっきり言わないで断る場合などや、あいまい表現といわれるものは、言外の意味を受け止めなければならない。疑問形で発話される場合は、非難、疑い、驚きなどの感情を伴うので、相手の気分を害する可能性があることを学生には伝えなければならない。

(31) 学生（先生に）：また試験をするんですか。

これは、（毎日試験があつて、もうくたびれました。そんなに試験ばかりしないで、たまには休みをください。）という気持ちが暗に含まれていて、もううんざりしている様子が窺える。学生が何気なく「ん」をつけても、先生にとっては、文句を言われているようで、ちょっと気分を害してしまう。

(32) 母親（息子に）「また出かけるの？」

毎晩友達のうちに出かけていく息子に向かって、（毎晩でかけるのは、いかげんにしたら。）と、怒っている様子がわかる。

(33) 母親（子どもに）「まだ起きてるの。」

（いつまでも起きていないで、もう遅いんだから早く寝なさい。）といっているのである。この場合は「の」の強さ加減で、意味も違ってくる。やさしく「の」と言えば、（遅くまで、勉強にがんばっているのね。たいへんだね。

がんばってね。) という意味にとれる。

(34) 客 (店の人に) : マイケル・ジャクソンのCDを探しているんですが。

この場合は、客はなかなか見つけれないでいる。そこで、店のどのあたりにあるのか教えて欲しいと暗に言っているのである。

店員はそれに対して、「少々おまちください。」といってパソコンでどの辺りにあるかを調べてくれる。あるいは案内してくれるはずである。

最近特に若い人がよく使うあいづちに

(35) そうなんだ。

というのがある。「それで納得しました、そういうことなんですね。」と「そうですか。」よりもっと「へえ～」と驚いたようすが伝わる。相手の話をちゃんと聞いていますよ、と言う態度を示すためだが、ちょっとおおげさに聞こえる。最近では

(36) そうなんですか。

もたびたび耳にするようになってきた。「そうですか。」で十分なのに若い人の「そうなんだ～」という言い方に影響されたのかもしれない。確認と驚きの両方を併せ持ったもので、初めのころは耳について聞くたびにちょっといやな感じがしたが、このごろはだいぶん慣れてきた。

それぞれの教科書ではどのあたりに出てくるかを調べてみた。() 内は課数を表す。

教科書名	「～んです」の出現する課
みんなの日本語 I (1課～25課)	20課会話 「夏休みは国へ帰るの？」 「小林君はどうするの？」 ※「の」のうしろに？がついている。
みんなの日本語 II (25課～50課)	26課 機能的説明と例文 「どうしたんですか。」 「あたまがいたいんです。」
S F J VOLUME ONE NOTES (Lesson 1～8)	〈1〉 5課 絵を使って「行きますか」と「行くんですか」の違いを説明してある。 〈2〉 7課 さらに3つの意味の違いが絵と英文で説明されている。 1) 理由の説明

	2) 確認 3) 驚き
新文化初級日本語Ⅰ (第1課から18課)	第16課 機能的な説明と例文 「どうしたんですか。」「～んです。」 「旅行にいきたいんですが。」
新文化初級日本語Ⅱ (第19課～36課)	第25課 「どうしたの？」に対して、男女の答え方の違いがある。「頭が痛いんだ。」(男) 「頭が痛い」(女) ※また、「です」「ます」体の文も併記してある。 第26課 「どっかへ行っちゃったんだ。」 「この水道、まわしたり押したりするものがないんですけど・・・。」 第27課 「これ、重くて持てないんですが・・・。」 「誰がこの写真撮ってくれたの？」 「京子さんが撮ってくれたの。」 「～しようと思っているんです。」 「おかげさまでもうずいぶんいいんですよ。」 「タイへいらっしゃるんですか。」等々
長沼新現代日本語Ⅰ (改訂版) 初級 (1課～25課)	22課 「どうしたんですか。」 (の) ※「ん」の下に(の)と書いてある。 「予約をおねがしたいのですが。」 23課 「花屋の角を左へまがるんですね。」 24課 「きまった言い方があるんですね。」
長沼新現代日本語Ⅱ (改訂版) 初級 (1課～20課)	1課 「日本ではむかしから、女の子が生まれると、ひな人形を買って贈るんですよ。これはわたしが結婚するとき、持ってきたんです。」 ※「ん」と「の」の両方が出ている

	2 課 「もしもし、きのう、こちらに引っ越してきたので、届けを出したいんですけど。」 「・・・郵便局へも行かなければならないので、いそぐんですけれど・・・。」 ※この教科書ではほとんど毎課に出てくる
Communication Japanese Style I (長沼集中日本語コース) (1～40)	15. カメラがほしいんですが。 ※別冊の文法説明があるが、「相手を納得させるときに使われる」との説明だけである。 例文として、この課のあと少し出てくる。
JAPANESE FOR EVERYONE (第1課～第27課)	第6課 Dialogue I 「・・・いろいろなものがあるんですよ。」 Dialogue II 「この白いシャツがほしいんですが、・・・。」 ※ Function, Structure, で英語による解説があり、Exercise がある。
JAPANESE FOR BUSY PEOPLE II Part I (Lesson 1 ～ Lesson 40)	Lesson 11 (本文中の会話) 「おとしし大学をそつぎょうしたんですか。」 ※GRAMMAR & LESSON OBJECTIV に英語の解説がある。 巻末の APPENDIX A には接続の仕方の説明がある。また Lesson 20 で書き言葉では「の」を使うことも出てくる。 ですから、・・・一度に春の花が見られるのです。
初級日本語テキスト 日本語で話そう 2 (1 から 4 まであり、各 巻は 7 課まで)	5. よやくをおねがいしたいんですが。 ※ (れんしゅう) がたくさんあり、意味の説明が英語で書いてある。
An Introduction to Modern Japanese BOOK ONE: Grammar Lessons	Lesson 22 (本文中の会話) 「なぜ引越したんですか。」 ※22-2 で「んです」「のです」「んだ」「のだ」が英語で書かれている。

	またLesson 24では疑問形の「の」が出てきて、主に女性が使うと書かれている。
Japanese Language Patterns Volume 1 (lesson 1 ~ lesson 22)	Lesson 15で N(O) DESU Chotto matte kudasai. Hanashiga arun(o) desu. Shigoto ga nain(o) desu.
日本語 2 nd ステップ (第1課～第20課)	第6課 「～のですか。」「～のです。」の形で例文があり、注釈で会話の時には「～のです。」が「～んです。」となるとある。
楽しく話そう (1～15)	5の●ちょっとれんしゅう 「～んですが、～ませんか。」誘う。 10の●ちょっとれんしゅう 「手術の前はどんなことをしておくんですか。」 「休みの日は、何をしていますんですか。」 14の●ちょっとれんしゅう 「～たいんですが・・・。」 15の(つかってみよう！) 理由を聞く 「どうしたんですか。」「～んです。」 ■ 電話のかけ方 「△△さんをお願いしたいんですが・・・。」 ■ 謝り方 「あのう、大変申し訳ないんですが・・・。」 「～のことなんですが・・・。」 「～てしまったんです。」 「すみません。～は～んです。」
日本語中級 J 301 —基礎から中級へ— (第1課～第10課)	第4課 練習Ⅰ 1) A: この辞書はどうですか。 B: わあ、わたし、こんな辞書を探していたんです。

やさしい日本語入門 (1～30)	24 「頭とのどがいたいんです。」
日本語初中級 理解から発話へ (1～26)	8「～んです」 「金曜日に試験があるんです。」 「急ぎの電話なんですが・・・。」 ※「試験があります。」「お電話です。」の違いを会話の状況によってどう違うかを考えさせる。

(筆者注：漢字と仮名は掲載どおりであるが、分かち書きのスペースは省いた。)

『みんなの日本語Ⅰ』の20課の[会話]に

小林　　：夏休みは国へ帰るの？

タワポン：ううん、帰りたいけど・・・。

小林君はどうするの？

しかし、[例文]のところでは疑問文は「きのう木村さんに会った？」とある。「～んです」が出てくるのは『みんなの日本語Ⅱ』の26課だから、学生はこの「の」は何か分らない。「の」は「ですか」の親しい間での会話表現と勘違いをして、「アパートはどこの？」「何歳の？」と不自然な質問をすることがある。

『新文化初級日本語Ⅱ』の25課では親しい友だちとの会話2で〈男の人の会話〉と〈女の人の会話〉と〈です・ます体の会話〉が並んで出ている。

(34) 〈男の人の会話〉 〈女の人の会話〉 〈です・ます体の会話〉

A：どうしたの？　　A：どうしたの？　　A：どうしたんですか。

B：頭が痛いんだ。　　B：頭が痛いの。　　B：頭が痛いんです。

このように例文が分かりやすく記述されていれば、会話に出てくる「の」の使い方が学習者にとって分かりやすいと思う。

『JAPANESE FOR EVERYONE』LESSON 6には「～のです」「～んです」の英文の説明がついている。以下はその訳文である。

「～のだ」「～のです」または「～んだ」「～んです」は話し手が述べていることについてただ単に事実として述べるのではなく、説明または弁明の理由を提供する。

疑問文で使われるときは、話し手が聞き手に説明なり弁明の理由なり

を求める。

例1 A: どうして、きのう、会社をやすんだんですか。

B: かないが、びょうきだったんです。

2 A: ゆうべ、パーティーに来ませんでしたね。なぜですか。

B: しごとが、おわらなかったんです。

3 A: なんで、そんなにべんきょうするんですか。

B: あした、テストがあるからです。

あした、テストなんです。

「んです」を使うと、「から」や「ので」を使うほど、明確な理由をあらわさない。(福山訳)

『JAPANESE FOR BUSY PEOPLE II』 LESSON 11 の GRAMMAR & LESSON OBJECTIVES では次のような英文の解説がついている。

● n desu

「～んです」を理解するには、状況を判断するほかない。(会話の状況で) 林さんは中村さんの履歴書を手にしているのだから、大学を卒業したのがいつなのか聞く必要はないはずである。「卒業しましたか。」の代わりに、この文型を使ったのは、確認とさらなる情報を引き出すためである。(省略) 文章を書く場合、あるいはもっとフォーマルな話の際は「～のです」を使う。「～ます」と「～んです」の違いは微妙で、「～んです」の逐語訳は難しい。次の例文は「説明」または「確認」の機能を持つ。

例) 1. (大きなスーツケースを持っている同僚を見かけて)

どこに行くんですか。

2. (食材売り場のケースにある蛇の肉を見て)

蛇を食べるんですか。

ええ。

ほんとに食べるんですか。

3. 会費を払ってください。

明日でもいいですか。今お金がないんです。

4. (夜早くにパジャマを着ているルームメイトに)

もう寝るんですか。

ええ、明日は4時に起きるんです。

この文と単なる疑問文の状況とを比較してみなさい。

何時に起きますか。

6時に起きます。 (福山訳) [例文はすべてローマ字]

また『An Introduction to Modern Japanese BOOK ONE』Lesson 22

Comment 22-2 The pattern のです / なんですのところでは、つぎのような解説がある。

「のです」はしばしば話者が相手に理由や原因あるいは状況を説明したいときに使われる。

①あしたは8時過ぎまで会社にいるつもりです。仕事が山ほどあるのです。

②顔色が悪いですね。

——今朝からとても頭が痛いんです。

③テニスをしませんか。

——ええ、でも下手なんです。

④お仕事は何ですか。

——まだ学生なんです。

この文型は特に「なぜ」「どうして」という疑問詞とともに用いられることが多く、話者は何らかの説明を相手に求めていることが前提となる。実際よく使われるのだけれど、分かりにくい。質問と答えにこの文型がどのように現れるのかを次の会話で注意してみてほしい。

⑤どうしてきのうは来なかったんですか。

——すみませんでした。急に用事が出来たのです。

なぜだまって行ったんですか。

(福山訳) [①～⑤の番号は筆者による。①～⑤の例文は日本語で書かれている。本文の下に英文訳がある。]

『Japanese Language Patterns Volume 1』LESSON 15ではやはり、例文のついた丁寧な解説がある。以下はその訳文である。

15-1 「のです」、説明のフォーム

1 文法的なフォーム (省略、接続の仕方の説明)

2 構造的意味

1. 基本的には「のです」をつけても文章の意味は変わらない。しかし、「のです」をつけることによりある付帯的な意味が加わ

る。言ったこと、やったこと、これから言うこと、やることの説明を表すからである。したがって必ず、文脈や状況を示唆する。「のです」がある場合とない場合を比較してみる。

- (a) 「話があります。」

「ちょっと待ってください。話があるんです。」

(相手に待ってくださいと言っている理由を説明している。)

- (b) 「勤めるところがないんです。」

「大田さんは勤めていませんね。」

——「勤めるところがないんです。」

(大田さんはどうして勤めていないかを説明している。)

- (c) 「おもしろいですか、その本は？」

(本を読んでいる人に聞いている。)

「おもしろいんですか？」

(明らかに本に熱中している人または本を読んでいた思わず笑い出した人に尋ねる。)

- (d) 「あれはどうしましたか。」

(あなたが話していた件はどうなりましたか。の意味)

「どうしたんですか。」

(はじめの文は相手に情報を得るための質問であり、2番目のは相手の心配そうな表情とか、具合が悪そうに見える時とか、いつになくあわてている様子などの説明が欲しいときである。元気そうでない場合だったら、相手は「頭が痛いんです。」と言うだろう。)

2. 説明のタイプはいろいろある。例えば次の例は由来の説明である。

「これはギニアの切手です、友だちにもらったんです。」

次の例文はなされなければならない理由を説明している。

「早く来てください。みんな待っているんです。」

3. 「のです」は疑問詞とともによく用いられる。疑問詞で始まる疑問文は質問をする人が更なる情報や説明を求めていることが予測される。「誰が来ますか。」という質問は誰かが来ることはすでに知っている。「誰が来るんですか。」のほうは、すでに

知っている事実のさらなる説明を求めているのである。そのため、「どうして」とか「なぜ」が「んです」とともに用いられやすい。

「どうして言わないのでしょうか。」

「なぜそんなことを言ったんでしょう。」

4. 「のです」の逐語訳はこの形を理解するのに役に立たない。使われる状況や場面に出来るだけ多くあうほうがいい。このためドリルは出来る限り日常の状況から広く取り上げてある。

(以下例文とドリルが続く)

(福山訳) [例文はローマ字表記でその下に英訳がある。]

このように英文の教科書には例文のついた丁寧な説明がなされている。日本語教師としては大いに参考にすべきところである。

4 おわりに

日本語教育の教科書をいろいろ調べてみると、会話の取り上げ方がさまざまであることが分かった。初級のはじめはほとんどの例文が「会話」で構成されている。そしてその会話文は、文法項目にそって会話が出てくるものと、まず会話があってその中で注意すべき文法や使い方の説明がなされているものがある。また会話の場合、場面設定が書かれているものと、そうでないものがある。学習者は場面設定や文法項目の説明があれば、ある程度独習できるだろうが、外国で出版された、あるいは外国人によって書かれた教科書以外は、独学は無理である。日本語で書かれた教科書のほとんどは、教師の指導を前提として作られたものである。また日本語で書かれているので、説明がないものが多い。留学生のために作られた解説書のあるものもあるが、英語・中国語・韓国語・タイ語の解説の内容が同じであることには問題がある。(『コミュニケーションのための日本語教育文法』野田尚史編による) 留学試験を目指して日本語を勉強している留学生は、テストの成績を重視するため、会話の練習はほとんどできない。したがって大学を卒業しても日本語でコミュニケーションが取れない人がいる。

初級において、日常会話でよく使うものは、はじめのほうで取り上げたほうがよい。「お元気ですか。」や「あなたは」「わたしは」については早い時期に時間をとってきちんと説明すべきであり、「～んです」などは、文法の

練習とは分けてできるだけ例文を多く提供して指導すべきであろう。また場面設定は日本の文化・習慣がはっきり分かりやすくなっているほうがよい。たとえば年齢や上下関係など、相手との関係がはっきりしているものや、学生に状況や場面がよく分かるように書かれたものがよい。

また、できるだけたくさんの方の用例を学生に与えることが大切である。わかりやすくするためには絵を使ったり、新聞の４コマまんがや８コマまんがなどを活用するといいいのではないかと思う。また、テレビのドラマ、アニメ、映画などのスクリプトを使うのもいいが、初級の段階では難しいところもある。学習者の立場に立った、「会話」に必要な状況や場面が設定された教科書が望まれる。

調査資料

- 『みんなの日本語 初級Ⅰ本冊』、スリーエーネットワーク（編）、スリーエーネットワーク、1998（2007. 第15刷発行）
- 『みんなの日本語 初級Ⅱ本冊』、スリーエーネットワーク（編）、スリーエーネットワーク、1998（2007. 第15刷発行）
- 『新文化初級日本語Ⅰ』、文化外国語専門学校（著作・編集）、文化外国語専門学校（発行）、2000
- 『新文化初級日本語Ⅱ』、文化外国語専門学校（著作・編集）、文化外国語専門学校（発行）、2000
- 『楽しく話そう』文化初級日本語会話教材、文化外国語専門学校日本語課程（著作・編集）、文化外国語専門学校、1995
- 『初級日本語テキスト 日本語で話そう 1』高橋和子・広瀬万里子（著作）、財団法人 英語教育協議会（発行）1994年２版発行
- 『長沼新現代日本語Ⅰ』、財団法人 言語文化研究所（発行）、凡人社 1994改訂
- 『長沼新現代日本語Ⅱ』、財団法人 言語文化研究所（発行）、凡人社 1994改訂
- 『ロールプレイで学ぶ会話（１）』、岡崎志津子・小西正子・藤の篤子・松井治子・松本雅子（著者）、凡人社（発行）1994第六刷
- 『日本語 2 nd ステップ』、石川恵子・山本忠行・鈴木宣行・山岡政紀、白帝社、1993
- 『ニューアプローチ中級日本語基礎編改訂版』、小柳 昇、株式会社語文研究社、2008改訂版

- 『日本語中級 J 301 —基礎から中級へ—』、土岐 哲・関 正昭・平高史也・新内康子・鶴尾能子、スリーエーネットワーク、1997
- 『日本語初中級 理解から発話へ』、名古屋 Y M C A 教材作成グループ（著者）スリーエーネットワーク、1995
- 『やさしい日本語入門』、ジャンポール絹子、H B J 出版局、1990
- Communication Japanese Style I*、長沼集中日本語コース、言語文化研究所（著）、言語文化研究所（発行）、1993再版
- Communication Japanese Style I*、文法説明〈A〉、言語文化研究所、言語文化研究所、1986 改訂
- SITUATIONAL FUNCTIONAL JAPANESE VOLUME ONE: DRILLS*、筑波ランゲージグループ、凡人社、1991
- Japanese Language Patterns a structural approach Volume 1*, Anthony Alfonso, Sophia University L.L. Center of applied linguistics, 1974 Third printing
- An Introduction to Modern Japanese BOOK ONE Grammar Lessons*, Richard Bowring and Haruko Uryu Laurie, Cambridge University Press, 1992
- JAPANESE BY THE TOYAL METHOD Basic, Part One Section A*, Noah S Brannen, Japan Missionary Language Institute, 1983 Second Printing
- JAPANESE FOR EVERYONE*, Susumu NAGARA, GAKKEN Co. Ltd., 1990
- JAPANESE FOR BUSY PEOPLE II*, Association for Japanese-Language Teaching, KODANSHA INTERNATIONAL, 1990

参考文献

- 野田 尚史・編（2005）
『コミュニケーションのための日本語教育文法』くろしお出版
- 名柄 迪・監修（1987）
『外国人のための日本語 例文・問題シリーズ② 形式名詞』荒竹出版
- 森田良行・松本正恵（1989）
『日本語表現文型 用例中心 複合辞の意味と用法』アルク
- 国立国語研究所（1984）
『談話の研究と教育Ⅰ』大蔵省印刷局
- 国立国語研究所（1989）
『談話の研究と教育Ⅱ』大蔵省印刷局